



ひがしっ子

小野東小学校 学校だより 令和7年3月号

学校長

6年生のみなさんに感謝の気持ちをこめて

白い朝の光を受け、山の木々も柔らかい色に変わり、日ごとに春めいていくのを感じます。そして、6年生とのお別れの日も近づいています。

さて、2月17日（月）に児童会役員引き継ぎ式があり、6年生の児童会役員は、1年間を振り返り、頑張ったこと、学んだこと、後輩たちに引き継ぎたいことを発表しました。また、5年生の新児童会役員からは、みんなで力を一つに合わせて、今の6年生を超えるような学校をめざす意気込みを決意表明しました。

そして、令和6年度児童会役員（6年生）から令和7年度児童会役員（5年生）へ児童会のカギが引き継がれました。その後、委員会の新委員長が紹介されました。

2月28日（金）には、「6年生を送る会」が開催されました。小野東小学校の最上級生として活躍してきた6年生に対し、感謝の気持ちを伝えること、在校生が6年生の思いを受け継いで、令和7年度の活動に対する意欲をもって取り組むことを目的に実施しました。開催テーマは、「あこがれのパーフェクトリーダーを楽しませよう！ 新たなスーパー達人参上」です。



80分程度の短い時間ではありましたが、1年生～5年生からの出し物を6年生のみなさんに贈りました。歌あり、ダンスあり、クイズあり、プレゼンテーションありの様々な出し物には、「6年生が大好きでした」「いつも先頭に立って引っ張ってくれてありがとう」「困ったり悲しんだりしているときに声をかけてくれてうれしかった」など、感謝の気持ちを伝える言葉でいっぱいでした。また、6年生からは、「今までありがとう」という感謝の思いを込め、在校生に向けての小野東小学校クイズや「『僕らまた』の合唱」と、プレゼントとして「玉入れ用の青玉」が贈られました。

小野東小学校での「6年生を送る会」を見るたびに感じるのですが、子どもたちや先生方の温かさや優しさが伝わり、手作り感のあふれる心のこもった素敵な会でした。



卒業を控えた6年生と共に、思い出に残るひとときを過ごすことができました。

あと少しで本年度も終わりです。保護者の皆様、令和6年度の学校運営にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。間もなく令和7年度がスタートいたしますが、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

スマホ依存症になっていませんか？

依存とは、特定の何かに心を奪われ、「やめたくても、やめられない」状態になることです。今、全国的にスマホ依存の症状が子どもたちの中で増えてきています。スマホ依存とは、「スマートフォンの使用を続けることで昼夜逆転する、成績が下がるなど様々な問題が起きているにも関わらず、使用がやめられず、スマートフォンが使用できない状況が続くと、イライラし落ち着かなくなるなど精神的に依存してしまう状態」のことを言います。ということは、「こころの病気」に繋がる可能性があるということです。

スマホとの適切な関わり方や、スマホに潜む危険性については、これまでも各種お便り、PTA人権講演会、アンケート等で子どもたちや保護者の皆様に啓発してきました。あと10日ほどで春季休業を迎える、令和6年度の最後の話題として、「スマホ依存症度」について注目してみるのはいかがでしょうか。

携帯電話やスマートフォン依存度チェックシート

(参考：立川市HP)

いつもある：5	よくある：4	ときどきある：3	まれにある：2	まったくない：1
---------	--------	----------	---------	----------

質問の回答にあてはまる数字をすべて足して合計点を出してください。

- ①気がつくと思っていたより、長い時間携帯電話やスマートフォンをしていることがありますか。
- ②携帯電話やスマートフォンをする時間を増やすために、お手伝いなどをおろそかにすることがあります。
- ③家族や友達と過ごすよりも、携帯電話やスマートフォンをするを選ぶことがあります。
- ④携帯電話やスマートフォンで新しい仲間を作ることがあります。
- ⑤家族や友達などの周りの人から「携帯電話やスマートフォンをしている時間が長い」というような文句を、言われたことがあります。
- ⑥携帯電話やスマートフォンをしている時間が長くて、宿題ができなかったり、学校の勉強に集中できなかったり、影響が出たりすることがあります。
- ⑦まず先に、電子メールやLINEなどをチェックし、他にやらなければならないことを後でやるといったことがあります。
- ⑧携帯電話やスマートフォンをしたことで、宿題が進まなかったり、成績が落ちたりしたことがあります。
- ⑨家族や先生に、携帯電話やスマートフォンで何をしているのか聞かれたとき、隠そうとしたことがあります。
- ⑩学校や生活、友達のことなどの心配なことをわすれるために、携帯電話やスマートフォンをするがあります。
- ⑪次に携帯電話やスマートフォンをするときのことを考えている自分に気がつくことがあります。
- ⑫携帯電話やスマートフォンのない生活は、退屈で、つまらないものだろうと、不安に思うことがあります。
- ⑬携帯電話やスマートフォンをしているときに、だれかにじゃまをされると、いらいらしたり、おこったり、大声を出したりすることがあります。
- ⑭睡眠時間をけずって、夜遅くまで携帯電話やスマートフォンをするがあります。
- ⑮携帯電話やスマートフォンをしていないときでも、携帯電話やスマートフォンのことばかり考えたり、携帯電話やスマートフォンをしている姿をそうぞうしたりすることがあります。
- ⑯携帯電話やスマートフォンをしているとき、「あと数分だけ」と言っている自分に気がつくことがあります。
- ⑰携帯電話やスマートフォンをする時間を減らそうとしても、できないことがあります。
- ⑱携帯電話やスマートフォンをしていた時間の長さを、かくそうとすることがあります。
- ⑲だれかと出かけるより、携帯電話やスマートフォンをするを選ぶことがあります。
- ⑳携帯電話やスマートフォンをしていないと、ゆううつになったり、いらいらしたりしても、もう一度やろうとすると嫌な気持ちが消えてしまうことがあります。

得点が高いほど依存の度合いが強くなります。

【20～39点】平均的な携帯電話やスマートフォン・ユーザーです。

【40～69点】携帯電話やスマートフォンの依存度がやや高いです。携帯電話やスマートフォンがあなたの生活に与えている影響について、よく考えてみてください。

【70～100点】携帯電話やスマートフォンの依存度が高いです。ご家族でよく話し合しましょう。